

# ヤブツバキの

# ガイド養成

## 珠洲市の花 魅力発信へ

県内のツバキ愛好者でつくる「珠洲の  
菽椿プロジェクト協議会」は10月から、  
珠洲市の花である「ツバキ」のガイド育  
成に乗り出す。群生地の見学などを通じ  
て、市内の見どころや暮らしとの関わり  
を紹介する。ヤブツバキの自然群生地と  
しては国内最北とされる珠洲で、市民が  
市花に親しみ、観光客に魅力を伝えられ  
るようにする。

市民ガイド養成は、県の震災  
復興基金事業「珠洲のヤブツバ  
キ観察会」（北國新聞社後援）の



美しい花を咲かせたツバキの群生地  
＝3月、珠洲市馬  
縹町

## 来月から観察会

中で行う。第1回は10月4日に  
同市木ノ浦地区、第2回は11月  
8日に、第3回は来年3月のす  
ずツバキフェスティバルととも  
に、それぞれ同市馬縹町で開催  
する。

### 20カ所で群生

協議会の坂敏文代表の調査によ  
ると、市内でヤブツバキが30本以  
上密集して自生しているのは、  
木ノ浦地区や馬縹町などを中心  
に、外浦側で20カ所確認されて  
いる。1回目と2回目の観察会で  
はこれらの群生地を巡り、珠洲で  
自生するようになった経緯などを  
学ぶ。

珠洲市では、ツバキは12月下旬  
から4月上旬に咲き、特に2、3  
月に花の盛りを迎える。市内には、  
樹齢240～250年、幹回り2  
10センチもある巨木があるほか、潮  
風に強いツバキが、生け垣として  
人家周辺に植えられて集落に広が  
った場所もある。

8月に、休眠状態となっていた  
珠洲椿協会が再始動するなど、市  
民の間で愛護、調査活動への機運  
が高まっている。ただ、ヤブツバ  
キが市花であることや自然群生地  
の北限であることを知らない人も  
少なくないという。

坂代表は「珠洲のツバキの何が  
珍しいのか、人の暮らしにどう関  
わってきたのか、大勢の人に知っ  
てほしい」と話した。